

施策評価シート《マネジメントシート》

施策名	地域文化の振興と文化財の保護・継承			
施策の体系	基本目標	ひとを育むまち	施策の主担当課名	文化課
	基本施策	心とからだ育成プロジェクト	関係課名	—
	施策コード	B-4-5		

① 施策の現状と課題	<p>価値観やライフスタイルが多様化した今日、市民一人ひとりが自分の生き方を大切に、心のゆとりや生きる喜びなど精神的な豊かさを実感できる社会を創っていくことが重要となっています。</p> <p>地域に住む人たちが自ら地域の歴史や文化を学び、文化遺産を大切に未来へ伝えていく気運も高まっています。市民が心豊かに日々を過ごし、地域に誇りと愛着を感じられるように芸術や文化の振興を図るとともに、文化財を活用し、地域の歴史や文化を学ぶ機会を提供していくことが求められています。</p> <p>近年、文化芸術活動に親しむ市民は増加し、その内容も多岐にわたり、行政も多様なニーズに対応していくことが必要となっています。</p> <p>一方、本市は古代より豊前地域の中心として栄えたことから、数多くの史跡や文化財、伝統行事があり、御所ヶ谷神籠石や近年発見された福原長者原遺跡、連歌奉納など、全国的にも注目される文化遺産もあります。これらを市民と連携し、保存継承していくとともに、広く公開し、地域の活性化や魅力の向上につなげていくことが重要です。</p> <p>このため、多くの市民が文化芸術に親しむ環境整備を行うとともに、史跡整備や市の歴史や文化の情報発信能力の向上が求められます。あわせて、図書館、歴史資料館、市民ギャラリーなどの文化施設を充実していく必要があります。</p>
② 施策の基本方針	<p>市民の自主的な文化芸術活動を促進するために、鑑賞及び発表の機会の充実や文化施設の整備を進めます。</p> <p>市内の文化遺産を市民とともに大切に未来に伝えるとともに、地域の魅力を高め、活性化するために積極的に活用していきます。</p>

③ 施策の内容 (主要施策)	<p><b>主要施策名(1) 地域文化の創造と育成</b></p> <p>文化団体や地域、学校等と連携して文化芸術活動を推進します。また人材の育成や団体の支援を強化し、次世代を担う子どもたちが芸術文化を体験・鑑賞する機会の充実を図ります。</p>
	<p><b>主要施策名(2) 文化施設の整備充実</b></p> <p>市民の多様で積極的な文化芸術活動を受け入れるため、活動の拠点となる文化施設の充実を図り、計画的に整備を推進します。</p>
	<p><b>主要施策名(3) 史跡整備と文化財の活用</b></p> <p>御所ヶ谷神籠石をはじめとした市内の史跡を整備するとともに、史跡の説明板や道標などの設置を進め、生涯学習や観光振興に積極的に活用します。また、史跡や文化財の維持管理も適切に行います。</p>
	<p><b>主要施策名(4) 歴史や文化の情報発信の推進</b></p> <p>歴史資料館の特別展や企画展を充実させるとともに、各種講座や体験学習を企画します。また、わかりやすいパンフレットやガイドブックを作成し、市民の文化財に対する理解を深めます。</p>
	<p><b>主要施策名(5) 伝統文化の保存と継承</b></p> <p>伝統ある連歌をはじめとした、様々な無形文化財を市民と連携し、保存・継承し、併せて地域の活性化に生かしていきます。</p>
	<p><b>主要施策名(6) 読書活動の推進</b></p> <p>市民の知的文化活動の充実のために、図書館を核とした読書活動の推進を図るとともに読書環境の整備を推進します。また、子どもたちの豊かな読書活動を推進するため、市図書館と学校図書館の連携を強化します。</p>

④ 目標指標	指標名(単位)	過年度実績				評価年度	目標値	達成度の説明 (H26年度)	
	市民文化祭の鑑賞者数(人)	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	展示・ステージの部門で減少したが、茶道・俳句・短歌の催し部門で入場者が増加した。継続して実施しているスタンプラリーは概ね好評であった。
		7,000	7,752	7,125	6,602	7,990	7,800	8,000	
	コスメイト行橋の利用者数(図書館・歴史資料館を除く)(人)	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	市民ギャラリーの展示増に伴い、利用者が大きく伸びた。他に文化ホール、練習室、会議室、企画展示室の利用が増加している。
		200,000	182,515	182,463	201,900	224,623	210,000	220,000	
	御所ヶ谷神籠石の整備進捗率(%)	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H28年度を100とした場合の進捗率。実際の事業終了は平成31年を予定している。当初の計画より進捗状況は遅れている。
		69.0	71.4	72.5	74.3	78.2	80.8	100.0	
歴史資料館年間入館者数(人)	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	黒田官兵衛の企画展を開催したことによって入場者が前年度を上回った。	
	27,066	24,194	22,904	25,776	32,921	27,000	28,000		
図書館年間利用者数(人)	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	図書の貸出しを利用した人数。前年度に増加した移動図書館者がやや減少した。録音図書の利用者が増加している。	
	100,000	106,276	107,633	103,483	100,304	117,000	120,000		

⑤ 施策構成 事務事業	事務事業名	事務事業の内容	事業費(人件費込、単位:千円)			優先順位	
			H25年度実績値	H26年度実績値	H27年度見込額		
	1	複合文化施設管理事業	複合文化施設コスメイト行橋の管理・運営	115,211	118,943	118,417	12
	2	市民文化祭事業	行橋市民文化祭の開催	3,079	4,062	4,321	6
	3	複合文化施設整備事業	複合文化施設コスメイト行橋の施設改修	18,279	980	50,362	15
	4	美術展覧会事業	行橋市美術展覧会の開催	4,351	4,154	4,495	8
	5	特別展・企画展事業	行橋歴史資料での特別展(1回)・企画展(2回)開催	2,784	1,819	3,177	10
	6	文化公演事業	市内小中学校での芸術鑑賞・体験事業	1,405	1,405	1,405	19
	7	文化振興事業補助事業	行橋連歌大会、各校区文化祭、竹下しづの女俳句大会の開催を支援	3,140	4,435	2,660	23
	8	文化振興公社補助事業	公益財団法人行橋市文化振興公社に対する補助	50,415	57,060	57,316	13
	9	文化協会補助事業	行橋市文化協会に対する補助	2,910	3,190	3,260	17
	10	読書活動推進事業	乳幼児を対象としたブックスタート事業	2,223	2,281	2,262	21
	11	地域に開かれたオーケストラ鑑賞事業	地域レベルで活動するプロ音楽家によるクラシック音楽の演奏会	-	5,896	2,452	4
	12	芸術作品を活用した文化振興調査事業	彫刻を中心とした美術による文化振興について検討を行うもの	-	1,750	7,377	1
	13	旧百三十銀行管理事業	県指定文化財「旧百三十銀行行橋支店」の管理・運営	4,418	5,180	5,444	18
	14	御所ヶ谷史跡自然公園整備事業	国指定史跡「御所ヶ谷神籠石」の調査・整備	5,668	7,646	18,590	5
	15	御所ヶ谷吉池公園管理事業	御所ヶ谷吉池公園の管理	1,221	1,006	1,382	16
	16	市内遺跡整理事業	発掘調査を実施した遺跡の調査報告書作成	12,311	9,031	10,363	9
	17	稲童1号掩体壕管理事業	市指定史跡「稲童1号掩体壕」の管理	769	704	1,713	20
	18	市内文化財管理事業	市指定文化財への管理助成、及び古墳等の管理、文化財の修繕	2,306	3,350	4,239	11
	19	確認・試掘調査事業	開発等に伴う文化財の確認調査	1,712	2,218	3,613	22
	20	文化財収蔵庫整備事業	行橋市文化財収蔵庫の整備	2,414	140	-	-
	21	文化財収蔵庫管理事業	行橋市文化財収蔵庫の管理	750	729	1,641	24
	22	守田蓑洲旧居管理事業	市指定文化財「守田蓑洲旧居」の管理	2,888	1,540	5,167	14
	23	東九州道発掘調査事業	東九州自動車道の建設に伴う発掘調査の報告書作成	5,365	5,135	-	-
	24	再編交付金事業	文化財の見学者に対する案内板や説明板を設置	4,863	5,904	6,282	7
	25	緊急雇用創出事業	発掘調査で出土した文化財の実測、製図を委託して実施	6,745	-	-	-
	26	市内遺跡発掘調査事業	福原長者原遺跡の発掘調査、及びビワノクマ古墳調査報告書作成	4,485	11,342	9,463	3
	27	県道発掘調査事業	県道拡幅工事に伴う発掘調査の報告書作成	2,316	1,301	-	-
	28	守田蓑洲旧居開館事業	市指定文化財「守田蓑洲旧居」の開館	26,853	6,652	-	-
	29	稲童1号掩体壕用地購入事業	市指定史跡「稲童1号掩体壕」の用地購入	-	7,573	-	-
	30	稲童古墳群出土品整理事業	国重要文化財「稲童古墳群出土品」の整理を行い公開活用を進める	-	0	4,559	2
31	県受託事業	市内の件発注事業の発掘調査および整理作業	-	-	1,399	25	

<p>⑥</p> <p>施策全体の今後の方針と展望 (主管部長の意見)</p>	<p>文化芸術活動や地域の歴史文化を街の魅力を高めるために積極的に活用していくことが求められている。そのために、市民の意識を高め、市民の手による地域文化の創造や発信を促進する。また文化団体やボランティア団体がいきいきと活動できるようサポートしていくとともに自立性を高める。さらに（公財）行橋市文化振興公社についても、文化芸術活動の振興に十分に力を発揮できるよう連携を強めていきたい。</p> <p>こうした施策により市民が、心の安らぎや生きがいを感じ、魅力と活力のあるまちづくりを推進する。</p>
<p>⑦</p> <p>総合計画審議会からの意見及び指摘事項等</p>	<p>古きよきものを大切に、地域の歴史や文化を学ぶことは、人の心を豊かにする上で非常に重要なことである。施策構成事務事業にも記載されているが、行橋市には御所ヶ谷、旧百三銀行、守田養洲旧居、稲重1号掩体壕、またそれ以外にも多くの歴史ある文化施設がある。ぜひ市内外の人々に知ってもらうとともに観光事業とも連携して活用を図ってもらいたい。また、貴重な施設であるので維持管理にも努めてもらいたい。</p> <p>目標指標の実績値を見ると、歴史資料館の入館者数が大河ドラマの影響で前年度を大きく上回っている。これを一時的なものではなく、展示やPRの方法を工夫することにより今後も維持・向上できるように取り組んでもらいたい。</p> <p>また、旧豊前国一帯で継承されてきた「豊前神楽」が国の重要無形民俗文化財に指定されたことを契機に、行橋市としても地元の伝統文化である神楽の継承、後継者育成のための取り組みをより強化してもらいたい。</p>
<p>⑧</p> <p>施策に対する市の最終方針</p>	<p>文化振興においては市民が、楽しく生きがいをもって文化活動を展開できるように支援します。さらに国際的な彫刻展「ゆくはしビエンナーレ」を開催することによって、クオリティーの高い芸術作品を街に取り込むとともに、行橋市のPRに結び付けていきます。また連歌など本市の誇る伝統文化の継承と普及も推進します。</p> <p>歴史や文化遺産の活用については、市内に遺る数多くの文化遺産に光をあて、市民が自分たちの住む町に誇りと愛着がもてるように、情報発信や教育普及活動に力を注ぎぐとともに、歴史資料館のでも魅力ある特別展、企画展を展開していきます。また文化財を観光資源として活用するために観光部局とも協力して史跡の整備や説明・案内サインなどの増設に取り組みます。</p>